

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭64-54678

⑬ Int. Cl.⁴

F 28 D 15/02
B 64 G 1/50
H 01 L 23/46
H 05 K 7/20

識別記号

庁内整理番号

A-7380-3L
8817-3D
A-6835-5F
R-7373-5F

⑭ 公開 昭和64年(1989)4月4日

審査請求 未請求 (全3頁)

⑮ 考案の名称 ドライアウト防止機能付蒸発器

⑯ 実 願 昭62-146102

⑰ 出 願 昭62(1987)9月24日

⑱ 考 案 者 田 中 清 志 東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内

⑲ 出 願 人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目33番1号

⑳ 代 理 人 弁理士 内 原 晋

㉑ 実用新案登録請求の範囲

キャピラリポンプループに使用され、蒸発器本体と液管と蒸気管とを有し、毛細管力によって前記液管から液体を前記蒸発器本体に流入させ且つ前記蒸気管に蒸気として流出させるウィックとを備える蒸発器(コールドプレート)において、前記液管と前記ウィックとの間に設けられ外部から指示によるバイモルフ振動子の振動によって前記液体を前記蒸発器本体内の前記ウィックに強制的に送り込むバイモルフポンプを備えることを特徴とするドライアウト防止機能付蒸発器(コールドプレート)。

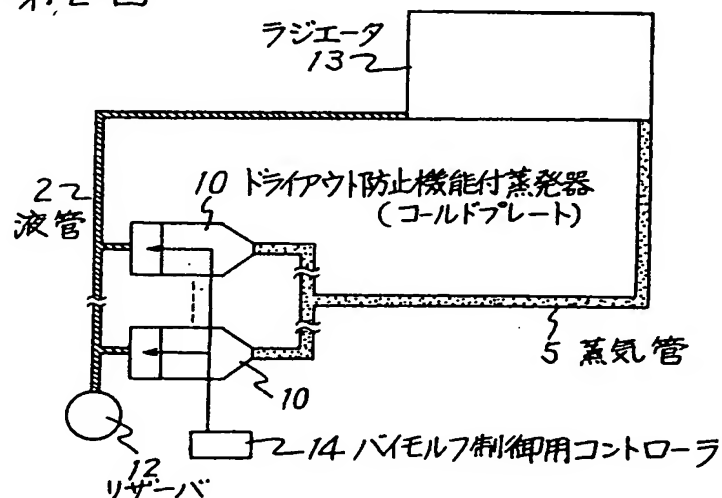
図面の簡単な説明

第1図aは本考案の一実施例の部分断面を含む上面図、第1図bは第1図aのA-A'線断面図、

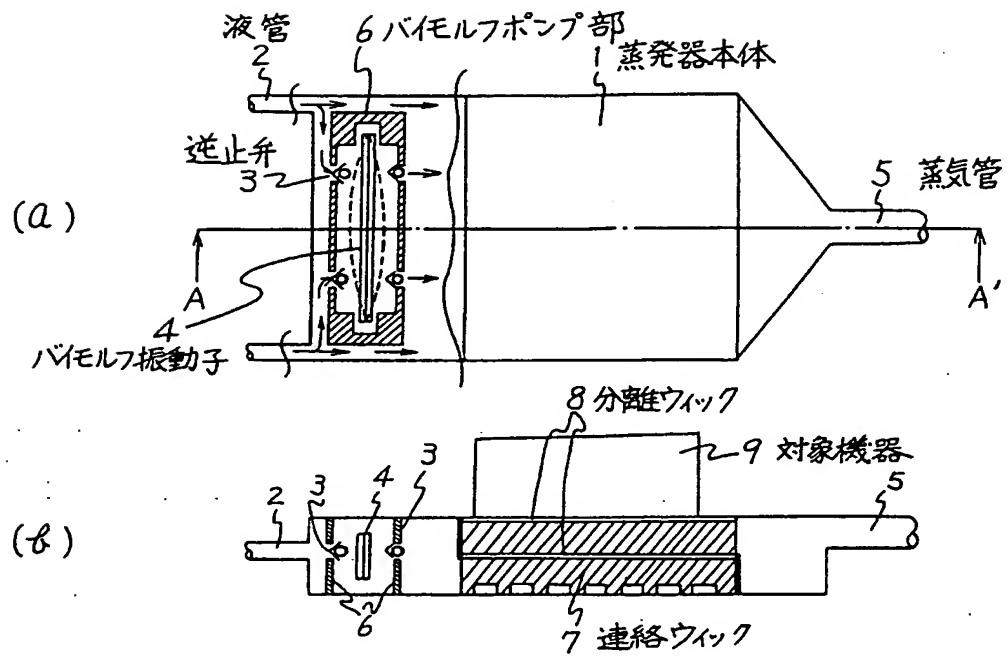
第2図及び第3図は本実施例を用いたキャピラリポンプループの第1及び第2の例を示すループ図、第4図は従来の蒸発器(コールドプレート)の一例を示す平面図、第5図は従来例を用いたキャピラリポンプループのループ図である。

1, 21……蒸発器本体、2, 22……液管、3……逆止弁、4……バイモルフ振動子、5, 23……蒸気管、6……バイモルフポンプ、7, 24……連絡ウィック、8, 25……分離ウィック、9……対象機器、10……ドライアウト防止機能付蒸発器(コールドプレート)、11, 30……蒸発器(コールドプレート)、12, 26……リザーバ、13, 27……ラジエータ、14……バイモルフ制御用コントローラ、28……ポンプ、29……コントローラ。

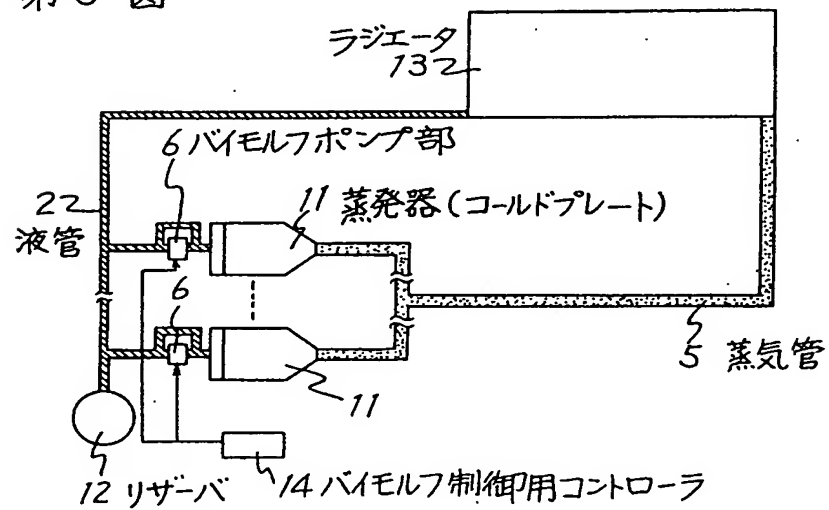
第2図



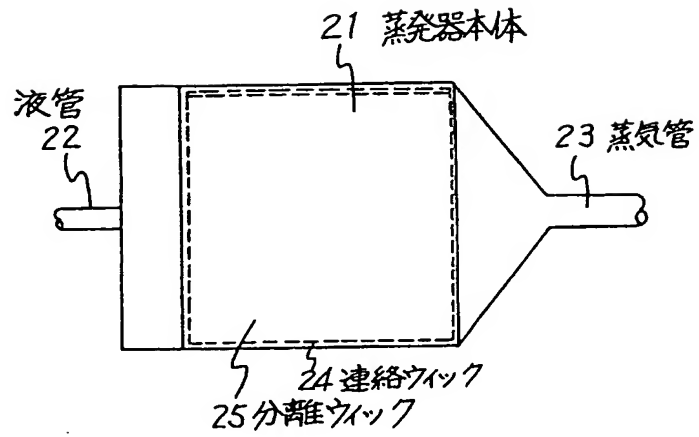
第1図



第3図



第4図



第5図

